



学校の教育目標 小樽の未来をつくる 北陵生の育成

- 一 深く学び、考え、表現できる生徒
- 一 豊かに人とつながり、思いやりのある生徒
- 一 たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

重点目標

15の春をみんなで考えよう ～小中一貫教育の継承と進化～

今、子どもたちには、これから社会がどんなに変化して予測困難になっても、それぞれが思い描く幸せを実現するために、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動できる力を身につけることが求められています。北陵中では、意図的・計画的に行われる授業を中心に、行事、その他あらゆる場面で、自ら判断し、行動できるように働きかけ、生徒たちが多くの失敗や成功を繰り返しながら、大人になっても社会の中で自走していけるように、12skillを通し「未来につながる力」の育成を目指します。

令和7年度 教職員の3actions

しかけ・声かけ・働きかけ ～授業と生徒指導は一体～

教職員のチーム力

学校が責務を果たすためには、教職員相互の関係が良好であることは、とても大切なことです。学校は日々いろいろなことが起こります。だからこそ、一人の教職員が本来もつ力を最大限に発揮するために、組織として対応できる集団でなければなりません。組織的に助け合える職場は日々の安心を生み、ひいては、笑顔あふれる、安心・安全な学校につながります。そのため、私たちは教職員のチーム力を大切にします。

知恵と勇気を出し合い「小さな一歩」の前進に努めます。

魅力ある授業

北陵中では、学校生活の全ての場面で、「生徒の『未来につながる力』を育てる指導」を心がけます。中でも、最も多くの時間を費やす「授業」を柱と押さえ、一人一人の生徒が自ら考え、積極的に表現し、深めていく「主体的・対話的で深い学び」の機会を、学園体制として校区の小学校とも連携を密にし、充実させます。

また、社会で通用する「人づくり」に向け「規律や礼儀」、「先を見通して計画的に行動できる力」等の育成に努めます。

保護者・地域との絆

生徒たちが、日々生活している場は「学校」だけではありません。「家庭」も「地域」も重要な基盤です。

個々の生徒の確かな成長は学校だけの力で十分に得られるものではありません。家庭における教育が非常に大切です。

そのため、私たちは、地域の学校として保護者や地域の方との情報交換や連携を深めることに努め、共同して生徒個々の健やかな成長を支援します。

学校経営の3つの柱

学校経営の基盤

まずやってみよう



安心して働ける学校
生徒の安心・安全